

ふくい街角景気速報

(令和5年11月分)

調査期間 令和5年11月17日～27日 (回答率: 91%)

概況

景気の現状判断DIは49.2となり、前月と比べ2.4ポイント低下した。

景気の先行き判断DIは47.3となり、前月と比べ2.4ポイント低下した。

■景気の現状判断DI 49.2 (前月比 ▲2.4)

- 家計動向関連では、前月に比べ 4.6 ポイント低下した。
- 企業動向関連では、前月と同水準であった。
- 雇用関連では、前月に比べ 2.0 ポイント低下した。

(意見の主な内容)

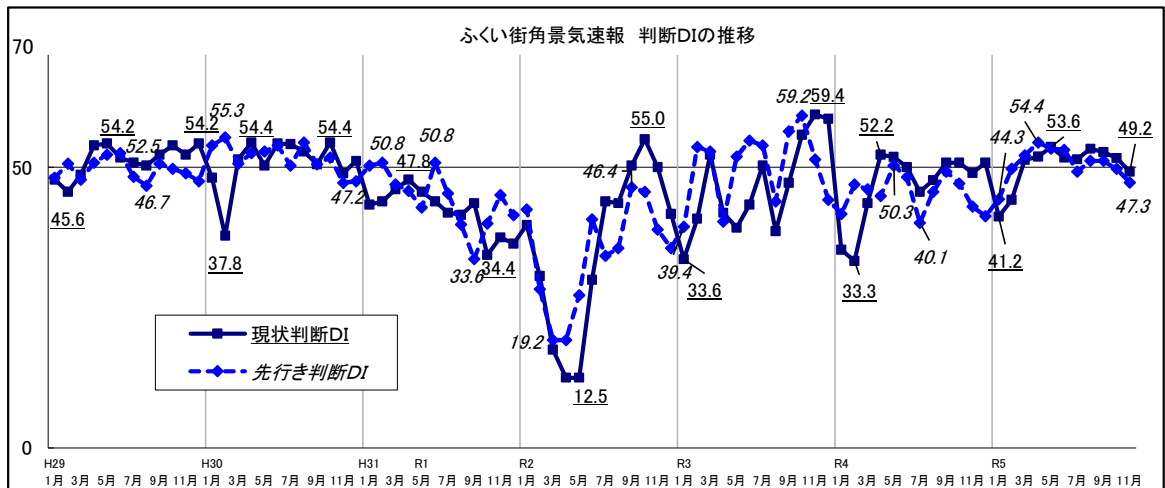
- 商品の値上げ傾向は若干落ち着いたものの、消費者の節約志向は引き続き高く、1人あたりの買上点数の前年割れが続いている。春から徐々に良くなっていたが、停滞を感じる。(百貨店、SC等)
- エネルギー価格の高止まりや物価高など、取り巻く状況が変わっていない。(化学・プラスチック関連)

■景気の先行き判断DI 47.3 (前月比 ▲2.4)

- 家計動向関連では、前月に比べ 3.9 ポイント低下した。
- 企業動向関連では、前月に比べ 2.2 ポイント低下した。
- 雇用関連では、前月に比べ 2.1 ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

- 物価高や燃料費など高止まりしている感があり、必要以上のものを購入しない傾向が以前よりも強くなってきている気がする。年末に向けて本来であれば需要が一番高まる時期なので、今よりは売上が上がってくる事を期待したい。(百貨店、SC等)
- 景気は徐々に回復すると予想されるものの、中国経済低迷、世界で発生している紛争の状況により、より先行きが不透明である。(電気機械関連)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R5 6	7	8	9	10	11	(前月差)
合計		51.7	51.4	53.3	52.7	51.6	49.2	▲2.4
家計動向関連		49.4	51.1	56.0	53.9	50.6	46.0	▲4.6
小売		44.8	45.7	53.3	50.9	49.1	42.0	▲7.1
飲食		62.5	60.0	55.0	62.5	58.3	70.0	+11.7
サービス		56.3	60.4	63.6	56.3	50.0	45.5	▲4.5
企業動向関連		50.8	48.5	48.5	50.0	50.7	50.7	+0.0
製造業		47.9	47.8	45.8	48.0	47.0	51.9	+4.9
非製造業		58.3	50.0	55.0	55.0	60.0	47.2	▲12.8
雇用関連		62.5	60.4	56.3	56.8	58.3	56.3	▲2.0

○回答別構成比

	年 月	R5 6	7	8	9	10	11	(前月差)
良くなっている		0.0%	2.2%	2.2%	5.5%	2.2%	2.2%	+0.0
やや良くなっている		31.1%	31.9%	33.7%	22.0%	26.1%	18.7%	▲7.4
変わらない		45.6%	39.6%	42.4%	51.6%	48.9%	53.8%	+4.9
やや悪くなっている		22.2%	22.0%	18.5%	19.8%	21.7%	24.2%	+2.5
悪くなっている		1.1%	4.4%	3.3%	1.1%	1.1%	1.1%	+0.0

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R5 6	7	8	9	10	11	(前月差)
合計		53.1	49.2	51.1	51.1	49.7	47.3	▲2.4
家計動向関連		53.3	47.3	50.0	54.4	51.1	47.2	▲3.9
小売		48.3	43.1	48.3	50.9	48.1	42.9	▲5.2
飲食		68.8	55.0	50.0	58.3	58.3	55.0	▲3.3
サービス		60.4	54.2	54.5	60.4	54.2	54.5	+0.3
企業動向関連		52.3	50.8	50.7	46.4	47.9	45.7	▲2.2
製造業		50.0	50.0	51.0	47.0	47.0	47.1	+0.1
非製造業		58.3	52.5	50.0	45.0	50.0	41.7	▲8.3
雇用関連		54.2	52.1	56.3	52.3	50.0	52.1	+2.1

○回答別構成比

	年 月	R5 6	7	8	9	10	11	(前月差)
良くなる		2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	2.2%	+0.0
やや良くなる		23.3%	25.3%	28.3%	26.4%	21.7%	19.8%	▲1.9
変わらない		62.2%	51.6%	55.4%	56.0%	53.3%	48.4%	▲4.9
やや悪くなる		8.9%	17.6%	8.7%	13.2%	18.5%	24.2%	+5.7
悪くなる		3.3%	5.5%	7.6%	4.4%	4.3%	5.5%	+1.2

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなっている	企業動向	坂井	一般機械関連	3ヶ月前から受注が急増しているため。
②やや良くなっている	家計動向	嶺南	商店街	規模は小さいものの、以前開催されていた催事やイベントなどが復活してきたので、需要が増えてきている。
		嶺南	観光関係	インバウンドツアーの入れ込みが活発となり、日本人客と合わせて活況を呈している。また、カニ・ふぐ料理の季節でもあり、高単価となっている。
	企業動向	奥越	繊維関連	受注量の回復(円安や値上げの浸透)によるもの。
		丹南	伝統工芸関連	注文が多くなっている。
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	半年後に迫った新幹線開業に向け、市内でも機運が徐々に高まりつつあり、観光客をターゲットとした新しい商品やサービス開発の動きがある。越前たけふ駅周辺で立地企業の造成建設が始まるなど市内活性化に繋がっていく。
③変わらない	家計動向	福井	商店街	特に変化なし。夏季の人の動きが多少活発化したが、秋に向かっての動きが一段落する傾向。
		福井	一般小売店	家具需要期に入っても、集客が増えていない。
		福井	百貨店、SC等	県外への流出増加と、気温が高かったこともあり、ファッションの動きも鈍かった。
		坂井	スーパー	商品の値上げ傾向は若干落ち着いたものの、消費者の節約志向は引き続き高く、1人あたりの買上点数の前年割れが続いている。
		福井	コンビニエンスストア	土日祝の来店客数が、コロナ前並みの状態が継続している。
		福井	観光関係	各地でイベント等が開催されているが、人流が回復していることが実感できる。しかしながら、企業活動としては原材料や光熱費の高騰に加え、人材不足も顕著となっており、思うような活動ができていない。
	企業動向	坂井	繊維関連	若干好転した部分もあるが、為替・原料の高騰も続いているため。
		福井	眼鏡関連	首都圏以外は相変わらず良くない。
		丹南	電気機械関連	受注、売上増加はあるものの、一時的かつ季節的な要因であるため。
		福井	化学・プラスチック関連	エネルギー価格の高止まりや物価高など、取り巻く状況が変わっていない。
		福井	銀行等金融関連	経済社会活動が活発化になり、イベント開催頻度の増加などもあり、対面型サービスを中心に回復傾向になっている。一方で、建設や製造業では原材料の高止まりが景況感を押し下げている。
		福井	運輸関連	物量が前年同月比で減少が続いていたが、やや下げ止まりの傾向がある。
	雇用	福井	学校就職担当者	例年と同様な就職状況であり、2回目の就職受験希望生徒も受験先が決まり、景気状況は落ち着いている。
嶺南		ジョブカフェ担当者	管内では、有効求職者ではフルタイムの建築・土木技術者、建設・土木・電気等の職業や保安、機械運転での求人倍率が高止まりしており、急激に雇用状況が変わることはないと考えられる。	
④やや悪くなっている	家計動向	嶺南	一般小売店	消費者の価格に対する厳しさが増している。
		福井	百貨店、SC等	気温がぐっと下がっても、冬物・防寒ものへの需要が湧かない。先物買いの傾向も見受けられない。
		福井	百貨店、SC等	10月後半から現在にかけて気温が高かったことなどで季節商材が売れなくなってきている。また、昨年のふく割などの消費喚起策が今年は無いため、売上自体が昨年より減小している。
		坂井	観光物産関係	商品の動きが若干悪くなってきている。
		坂井	観光関係	季節的な問題かもしれないが、夏に比べると悪くなっている。
	企業動向	福井	一般機械関連	建設機械部品製造業としての景気は、昨年度より好調が継続していたが、輸出向けで欧州等一部地域の景気減速と在庫調整による受注減少がある。
		福井	商社	政府からの石油製品に対する補助金が減り、石油製品が値上がりにより転じているため。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなる	家計動向	嶺南	商店街	年末に向けての需要が拡大すると思われる。クリスマス、歳末、新年売り出しなどの開催や忘新年会が見込めるため販売額が上がると推測される。
		福井	飲食関連	各所にてイベントや忘年会シーズンに、新幹線等開通に向け催しが行われている。
		福井	観光関係	例年、冬季は閑散期になるが新幹線機運上昇への期待を込めて。
		坂井	観光関係	天候リスクが大きい、新施設オープンやイベントなどで入場者数増加が見込める。
	企業動向	嶺南	商社	交流人口の増加。
		福井	運輸関連	足元の物量が回復傾向にある。
③変わらない	家計動向	坂井	一般小売店	2、3カ月後に周りの状況が変わるとは思えない。
		福井	百貨店、SC等	コロナ明けで買い物客が増える一方、ふく割減少や物価高で買い控えも見られ、どっちが優勢ともいえない状況。
		福井	百貨店、SC等	物価高や燃料費など高止まりしている感があり、必要以上のものを購入しない傾向が以前よりも強くなってきている気がする。年末に向けて本来であれば需要が一番高まる時期なので、今よりは売上が上がってくる事を期待したい。
		丹南	百貨店、SC等	相変わらずの物価高と燃料高の中で内閣支持率も低く、国民の不満足度が高い今の状況で景気が良くなるとは考えにくいから。
		福井	コンビニエンスストア	悪天候以外の不安要素は特に思い当たらない。
		福井	観光関係	冬季に入り人の流れも落ち着いてくると思われる。忘新年会の開催もコロナ前の8割くらいに回復している。今後の天候次第となるが現状に変化はないと思われる。
	企業動向	坂井	繊維関連	不透明な要素が多く、明確な先行きが見通せないため。
		福井	一般機械関連	商談・受注について、国内市場は年度末(3月末)に向けて若干増加したが、北米市場は停滞したままである。
		丹南	電気機械関連	景気は徐々に回復すると予想されるものの、中国経済低迷、世界で発生している紛争の状況により、より先行き不透明である。
		嶺南	食料品製造関連	嗜好品は買い控えがあり、消費が伸びない。
		福井	銀行等金融関連	コロナ禍の終息・経済社会活動の正常化に向けた動きもあり、対面型サービスを中心に個人消費の持ち直しが続くと思われる。一方で、コスト高による企業業績の悪化が設備投資を抑制するといった景気下振れ要因に注視が必要。
		雇用	嶺南	学校就職担当者
嶺南	ジョブカフェ担当者		10/1からの最低賃金の引き上げの影響で、企業の人件費の負担が膨らめば採用コストを割くことが難しくなるなどで、雇用機会の減少というマイナスに働く可能性も否めない。	
④やや悪くなる	家計動向	福井	商店街	シーズンの冬季に入り、電気料金や燃料費の高騰に伴う買い控えが発生。
		坂井	スーパー	電気代の補助が12月までであり、それが終わると節約志向が一層高まる可能性がある。
		坂井	観光物産関係	閑散期になるので、あまり期待出来ないため。
		嶺南	観光関係	冬期であり、味覚商品は堅調と思われるも、雪の多少により左右される部分も多い。今月と比べれば、少しの落ち込みが予想される。
	企業動向	奥越	繊維関連	世界全市場のインフレによる景気後退、地政学リスクによるもの。
		福井	一般機械関連	建設機械部品製造業としての景気は、昨年度より好調が継続していたが、輸出向けに欧州等一部地域の景気減速と、在庫調整による受注減少が暫く続く見通し。
		福井	化学・プラスチック関連	先行きに対する不透明感は依然として強く、引き続き景気下押し要因改善の兆しが見えない。
		福井	商社	輸送料金の高騰から、一層物価高となる事が予測されるため。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県 産業労働部 政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)